

俵山トンネルルート開通



①開通を祝うテープカット ②式辞を述べられる田中良生国土交通副大臣 ③小平田九州地方整備局長から引き継ぐ蒲島知事 ④俵山トンネル開通後行き交う多くの車両



昨年4月に発生した熊本地震で大きく被害を受け、国の直轄代行で復旧が進められていた俵山トンネルルート(県道熊本高森線)。俵山トンネルと旧道を迂回路とした東西方向の通行を確保するための工事が完了し、同年12月24日(土)、災害復旧を行った国から本来の道路管理者である県への引き継ぎ式と開通式が、同トンネル南阿蘇側坑口付近広場で、田中良生国土交通副大臣のほか国会議員、蒲島郁夫県知事、村関係者などが出席して開催されました。引き継ぎ式では、田中副大臣が、「俵山トンネルルートの開通により、南阿蘇地域と熊本都市圏を結ぶ東西方向の通行が確保され、阿蘇地域の物流の円滑化や観光振興に寄与することが期待されます」とあいさつ。開通式では、関係者の皆さんと南阿蘇小学校5、6年生(10人、くまモンによるテープカットが行われました。午前11時に交通が開放されると、村側からの車両が次々に通行していきま

あそのみなみの冬まつり

昨年12月24日の俵山トンネルルート開通当日、「道の駅あそ望の郷きぎの」で、「あそのみなみの冬まつり」が開催されました。まつりは、来場者への餅の振る舞いでスタート。ステージでは、阿蘇五岳太鼓やちょうよう保育園年長組による「ソーラン節」披露、くまモンの登場、シンガーソングライター「よつば」のライブ、会場内では、マルシェで賑わいました。まつりの終わりには、「クリスマス抽選会」が行われ、俵山バイパスの復旧を祝い、震災後の明るい出来事となった一日となりました。



①オープニングを飾った「阿蘇五岳太鼓」 ②ちょうよう保育園年長組による「ソーラン節」 ③多くの来場者が参加した「クリスマス抽選会」 ④村の特産品の米が当たった子どもたち